

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典探求	学年	第2学年	学類	商業科
単位数	2 単位	教科書	高等学校 標準古典探求				
副教材	標準古典探求 学習課題集（第一学習社） 重要古文单語 315 [三訂版]						

学習目標	1 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、古典に対する理解を深めることができる。 2 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
------	---

キャリア教育の視点	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
-----------	--

学習計画及び内容				考査
1 学 期	4月	説話(一)	古文の説話を読むことで、単語や文法事項に留意して古文を読解する力を伸ばす。	中間 考査
	5月	故事・寓話	漢文の故事・寓話の読解を通して、訓読の方法を確認する。	
	6月 7月	隨筆(一)	古文の隨筆を読むことで、作者の意見を理解し、現代人との共通点について考える。	期末 考査
2 学 期	8月	物語(一)	古文単語や文法事項に注意して、古文の物語の内容を把握する読解力を伸ばす。	中間 考査
	9月	三国史の世界	漢文の史伝を読み、内容を理解する読解力を伸ばす。	
	10月 11月 12月	説話(二) 漢詩の鑑賞	古文の説話を読んで、その内容の面白さや現代に通ずる価値を見出す。 漢詩の鑑賞を通して、古代中国の詩人たちがどのように周囲の景物を捉えていたか把握する。	期末 考査
3 学 期	1月 2月 3月	隨筆(二) 不思議な世界	古文単語や古典文法に留意して古文の隨筆を読むことで、作者のものの見方や捉え方の特徴を理解する。 不思議な世界を描いた漢文の説話を読んで、その内容を理解する。	学年末 考査

学習の方法	週2時間の授業では、教科書・学習課題ノートを中心とした学習を行います。文章を丁寧に読み、語彙を増やしたり自分の考えを深めたりします。また、自分自身で書いたり発表したりしたものを、グループやクラス内で相互評価し、より良い表現を目指します。
-------	--

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	---

備考	
----	--